

# 善循環の集い in 福井

## 比嘉照夫教授特別講演と EM 活動報告

期日：2018年8月4日（土）12:30-16:30

会場：鯖江市響陽会館 〒916-0027 福井県鯖江市桜町 2丁目 7-1

参加費用：500円（当日受付にて）

福井県は多くの品質化石が発見される古生物州県として



### ■EM (Effective Microorganisms 有用微生物群)

EM（有用微生物群）は全国各地において安心安全な作物を生産する農業、生態系の豊かな海や河川的环境浄化活動、医療、福祉、教育などさまざまな分野で幅広く活用され地域を元気にしています。加えて東日本大震災以降、重力波のメカニズムが明らかになり、EMの新たな可能性が見えてきました。

比嘉教授をお迎えして EM の最新情報と可能性について共に学び、活動報告と合わせて地域の活性化につなげていきます。是非 ご参加ください。

### ■比嘉照夫教授略歴

1941年沖縄県生まれ。琉球大学名誉教授。琉球大学農学部卒。九州大学大学院農学研究科博士課程修了。農学博士。EM技術の開発者として知られるEMの世界的権威。2017年9月に最新刊「愛と微生物」のすべて（ヒカルランド）を上梓。

### ■「善循環の集い」とは

「善循環の集い」は、地球環境共生ネットワーク（U-ネット）がEM技術の普及を目的として全国で開催しているイベントです。EM技術の開発者である比嘉照夫博士の講演や、開催地でのEM活用事例の発表等を通じ、EMを用いた活動への賛同を呼びかけています。

プログラム（プログラムは変更される場合がございます。ご了承ください。）

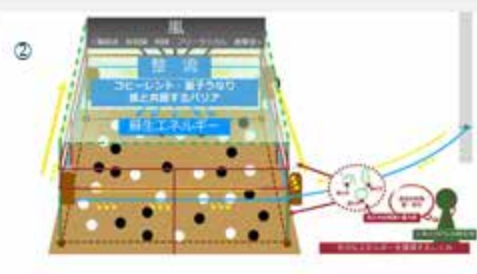
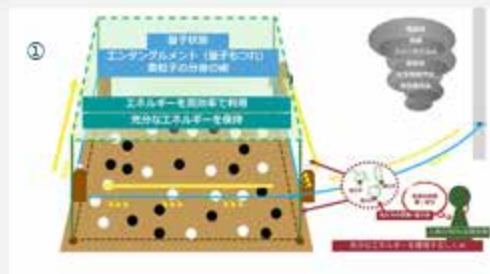
12:30	開場（受付開始・昼食は済ませてお越しください）
13:00-13:20 (20 min)	開会セレモニー U-ネットのご紹介
13:20-13:50 (30 min)	EM グラビトン技術・福井県内の導入事例 発表者：①松井明彦（福井県有機農業推進ネットワーク会長） ②中野幸（北陸EM普及協会） ③井上幸子（たんぼの天使）
13:50-14:20 (30 min)	三重県でのEM活動 講師：小川敦司（地球環境共生ネットワーク 東海北陸地区理事・執行委員）
14:20-15:00 (40 min)	EM 重農子農業の醍醐味 講師：野本千壽子（地球環境共生ネットワーク 愛媛県理事）
15:00-15:10 (10 min)	休憩
15:10-16:30 (80 min)	比嘉照夫教授特別講演「EM技術の最新情報」
16:30	閉会
17:30-19:30 (120 min)	比嘉先生を囲むでの懇親会 鯖江シティホテル 8階 参加費用 5,000円（事前申込み）

主催：認定 NPO 法人地球環境共生ネットワーク 後援：福井県 鯖江市 福井新聞社  
実行委員会：鯖江生ごみリサイクル市民ネットワーク 越前美土里環境ネットワーク 北陸 EM 普及協会  
福井県セルフ たんぼの天使 SPC ジャパン

お問い合わせ先：北陸 EM 普及協会 0776-27-6955 田中敏幸事務所 0778-53-0660

## 各講演のポイント

比嘉照夫教授 認定 NPO 法人地球環境共生ネットワーク 理事長



- ① 塩（○）と炭（●）を施用したフィールドの四隅に4本の支柱を立て、EM 活性化液を設置し、電柱からロープを引いてエンタングルメント（菌子もつれ）の状態を作ります。
- ② 「嵐」などの荒れたエネルギーと共振しながら、このバリアを守る作用である「量子うなり」を野生のエネルギーに変換し、このフィールドの中の生命や物質に必要なエネルギーを過不足なく送る状態である「エネルギーフィールド」を作ります。
- ③ 猿やイノシシなどの畜獣が境界に近寄らないのは、このエネルギー状態が普段彼らが見ているエネルギー状態とは異なるため、入りにくいからです。

小川敦司氏 認定 NPO 法人地球環境共生ネットワーク 東北北陸地区担当理事・執行委員

平成 29 年 4 月 4 日初めての EM 農法で（スパークファーム）8 畝に挑戦  
 ・塩 500Kg（除草対策）ほかし 150Kg、整流炭 180ℓ  
 ・土の整流 6 か所 ・空中整流 ・EM 活性化液 1 トン  
 雑草もほとんど生えずおいしいお米が取れました。30 年初めて米を作る方々 22 チームこの農法で挑戦中。10 年以上耕作放棄された田圃の再生に挑戦中。  
 田圃からたくさんの EM が流れて一番の環境浄化につながっています。

野本千壽子氏 認定 NPO 法人地球環境共生ネットワーク 登壇理事

真夏日となった 4 月 20・21 日、福井県から帰ってみると、牛糞の抗生物質を EM で処理した畝のレタスは、見事に大きくなっているのに、反対側 1 トンの塩を撒いたハウスのレタスに塩害が、葉は黄変し生長が止まってしまった。  
 ここで諦める訳にはいかない。気温が上がると水分だけでなく、塩分も吸収しやすくなるとイメージし、1 日 3 回の散水と 100 倍の活性化液を…  
 回復の兆しが見えないうち、EM の微生物の力を信じながら戦った結果…

## EM グラビトン技術・福井県内の導入事例



松井明彦氏  
福井県有機農業推進ネットワーク会長

無煙炭化器を使って海の漂着ごみを炭化しています。



中野孝氏  
北陸 EM 普及協会

炭と EM 技術でグリストラップが綺麗に整いました。



井上幸子氏  
田んぼの天使

今年から奥山田んぼで EM・炭・塩を使った農業を始めました。